

ITCイースト東京 2025年度 活動方針・活動計画

**2025年5月9日
ITCイースト東京**

目次

1. 2025年度活動方針

2. 2025年度活動計画

1. 2025年度活動方針

ITコーディネータとは

ITコーディネータ（ITC）は、

企業存続や組織の成長のために、変革構想立案からシステム導入・評価改善までを一貫して推進・支援し、IT経営とDXを実現するプロフェッショナル人材です。

経営理念の達成に向けて、

様々な経営課題と向き合い、ITを活用してビジネスの変革を図り、DXを推進する役割を担います。

ITC協会HPより：[DX その先へ](#)

当会のパーパス（存在意義）

当会は、

会員が、

ITコーディネータとして変革を推進する

その実践力を高めることを支援します。

会 の 目 的

- (1)中堅/中小企業・団体の課題に関し、また、会員個々のおかれた環境の中での課題に関し、デジタルの利活用も含めて、ITコーディネータとして、対応に必要な経験・知識・素養を高めるための会員自らの自己研鑽を支援する**
- (2)上記を通し、デジタル社会への貢献と、健全なるITコーディネータ制度の発展に寄与することを目的とする**

会の活動

- (1) IT コーディネータ協会、関連する行政機関、諸団体との連携、協力**
- (2) IT コーディネータ制度及び関連する諸制度に関する普及、広報活動**
- (3) IT コーディネータとして活動するための事例、手法等に関する調査、研究**
- (4) 会員のスキル向上、人脈作り、実践力向上のための場づくりと自己研鑽**
- (5) その他、本会の目的を達成するために必要な事項**

組 織

会長	当会をを代表し、公的機関、ITCAなどへの公式責任者となる。理事の中から選出する。
副会長	会長を補佐し、会長に事故などがあつた場合、会長の代行を行う。理事の中から選出する。
理事	総会の意志に基づき、分科会の活動に対する方針、意志決定を行う。また、分科会のリーダー又は当会全体のリーダーとして、総会・理事会の意志に基づき、当会の実務活動を推進する。
監事	会計監査を含めた当会の運営・活動に関する監査を行う。
総会	会員全員で構成し、当会の活動方針、予算などを決定する、最高意志決定機関とする。
理事会	総会の意志に基づき、当会の活動主体である分科会の活動を取りまとめ、推進する機関とする。会長、副会長、理事、監事、事務局で構成する。
分科会	同じ思いを持つ、正会員メンバで構成し、当会の実務活動を担う主体とする。
正会員	当会の活動に賛同する個人（ITコーディネータ、及び準ずる者）で構成する。
賛助会員	当会の活動に賛同する法人で構成し、当会の活動を支援する。
役割担当	当会の活動を推進するために必要な補助的活動を理事で分担し担う。

当会の運営方針

会員が、ITCとして、お客様や所属する企業・団体等の課題に対応し
変革を推進するために必要な実践力を磨けるよう、以下のような機会・場
を設けて推進する。

変革を推進

会員ITCが実践力を発揮

ITCイースト東京

人脈形成
の機会
(分科会 2)

副業の道を拓く
機会
(分科会 3)

ITCビジネス力向上
の機会
(分科会 4)

幅広く・深く知見を得る機会
(分科会 1)

PGL4.0を学ぶ・活用する機会
(分科会 5)

分科会 と ミッション

分科会	ミッションと活動
分科会 1	広く・深く知見を得る機会の創出 ☐ 会員が知見を得る機会創出 ☐ 学習ポイント取得機会提供
分科会 2	会員交流・会員ネットワーク構築 ☐ 分科会 2 自主勉強会 ☐ 会員交流企画検討実施(交流会、地域企業、工場、企業見学など)
分科会 3	副業の道を拓く ☐ 副業のためのノウハウを蓄積 ☐ 副業実践の体験場作り
分科会 4	ITCビジネスに必要な知識、経験、スキルを磨く ☐ ITCとしての実践力向上に意欲を持つ会員の相互研鑽 ☐ ITCビジネスの準備のための知識修得 ☐ 擬似体験の提供
分科会 5	PGL4.0の研究・活用 ☐ PGL4.0を学ぶ ☐ 自身の仕事や活動の中に活かす

連携概要図

ITCイースト東京（勉強会志向）

分科会 1 知見を得る機会

分科会 2 会員交流

分科会 3 副業の道を拓く

分科会 4 ITCビジネススキル習得

分科会 5 PGL4.0の学び・活用

正会員 416名（対前年比-35名）
2025年3月末現在

連携・協力
制度の普及

セミナー協力
届出組織PR

ITC協会、
全国のITC届出組織 等

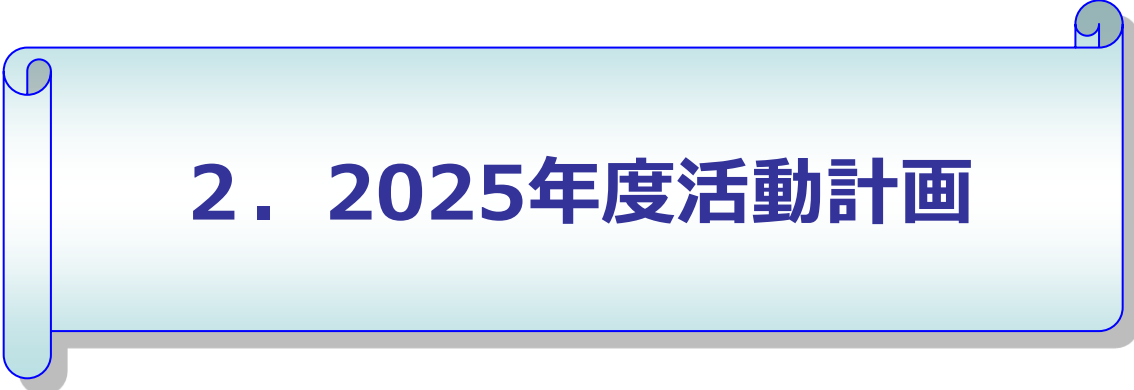
学習機会・ポイント
取得機会提供

入会
理事参画・運営協力

全国のITC
賛助会員（賛助企業）

ITCイースト東京HP：

<https://www.itc-east-tokyo.com/>



2. 2025年度活動計画

分科会 1 活動計画（セミナー開催）

1. 目的

- ・会員のスキルアップ^o機会の提供
- ・学習ポイント取得^o機会の提供

2. 計画案

- ・2025年度セミナー予定
 - ・年2回（6月、11月）、4時間／回（2ポイント／回）
※ITCイースト東京はITC協会届出組織のため、2時間で1ポイントの知識ポイントが付与されます。
 - ・開催場所：Zoom
 - ・セミナー対象者：ITコーディネータ
※ITCイースト東京会員以外のITCも含む

分科会 1 活動計画（企業OB-ITCから学ぶ）

1. 目的

- ・現分科会 1（新たな活動＋）として、「身近な企業OB(ITC)から学ぶ」をテーマとして、あらたな学びの機会を提供

2. 計画案

- ① 目的に向けた新分科会1メンバによる検討推進の定例会
 - ・12回（4月～翌年3月にて、1回／月）程度
- ② 企業OB-ITC（または企業OB）による経験談等の講演会
 - ・8月以降、1回／月または1回／2か月で開催
- ③ 講演会で得られた知見の成果物化

分科会 2 活動計画

1. 目的

- ・会員交流活動（交流の企画／運営）
- ・会員間のネットワーク構築

2. 計画案

- ①分科会 2 メンバによる自主勉強会＋会員交流企画検討会
・9回（4月～3月、1回／月）程度
- ②会員交流イベント（勉強会、見学会、交流会など）
 - ・勉強会（1H／回）＆交流会（1.5h／回）：3回
（ITC協会届出組織として後援を受けての勉強会予定：3回）
 - ・見学会：1回
 - ・会員交流からの新たな活動提案：1～2件
・他コミュニティとの交流など

分科会 3 活動計画

1. 目的

- ・企業内ITCにおいて、副業のためのノウハウを蓄積する。
- ・副業実践の体験場作りを行うとともに、経験者、独立系ITCからの知見を得る。

2. 計画案

- ①目的に向けた分科会 3 メンバによる検討推進の定例会
 - ・ 10回（4月～翌年3月にて、1回／月）程度
- ②副業体験
 - ・分科会 3 メンバでの実践 : 1 件
- ③上記活動結果の発信
 - ・企業内ITC向け勉強会企画・開催 : 1 回

分科会 4 活動計画

1. 目的

- ・ITCビジネスの準備のための実践的知識修得
- ・企業支援の実践体験の場づくりとそこでの自己研鑽

2. 計画案

- ① 目的に向けた分科会 4 メンバによる検討推進の定例会
- ・ 10 回（4 月～翌年 3 月にて、1 回／月）程度

- ② 企業支援の実践体験の場

- ・ 企業向けセミナー企画・運営・講師体験 : 1 回
- ・ 企業支援の実践体験 : 1 回

- ③ 上記活動結果の発信

- ・ ITC向けセミナー企画・開催 : 1 回

分科会 4 活動計画

■ 分科会 4 で実現すること

ITCビジネスに取り組みたいITCが、「ITCビジネスを実践できる様になる」ための、**実践的な研鑽の場を作り自ら研鑽を図ります。**

問題・課題は何なの？
目指すゴールは？
どの様にITに取り組むの？



中小企業の方々

研鑽の場 ⇒ 分科会 4



ITCビジネスに
取り組みたい！

ITC

- 実践に役立つ知識スキル習得・事例研究
- 実践に必要なツール整備
- 実際の実践の場に体験参加

分科会 5 活動計画

1. 目的

2024/4に改定された新PGLの4.0を研究し、自身の仕事や活動の中に活かす。

2. 計画案

- ①分科会 定例会 1回／月
各回前半) PGL4.0を学ぶ
各回後半) PGL4.0を活用する
- ②会員交流イベント（勉強会、見学会、交流会など）
・勉強会（1h／回） & 交流会（1.5h／回）：2回
- ③テーマ研究調査報告：1件以上

以 上